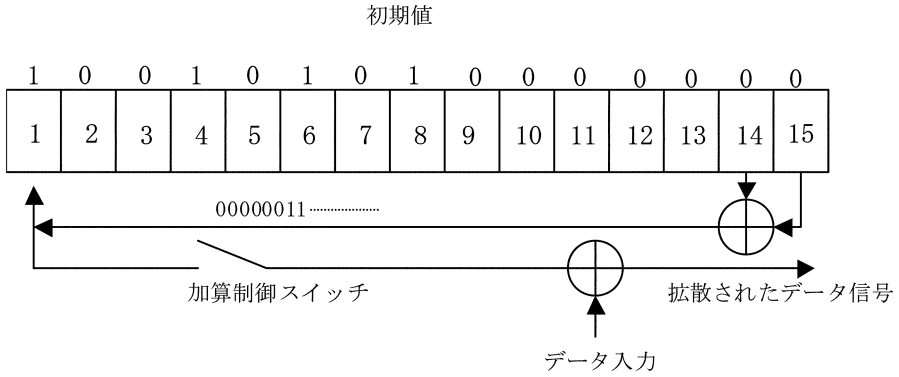
別記１　電力拡散信号

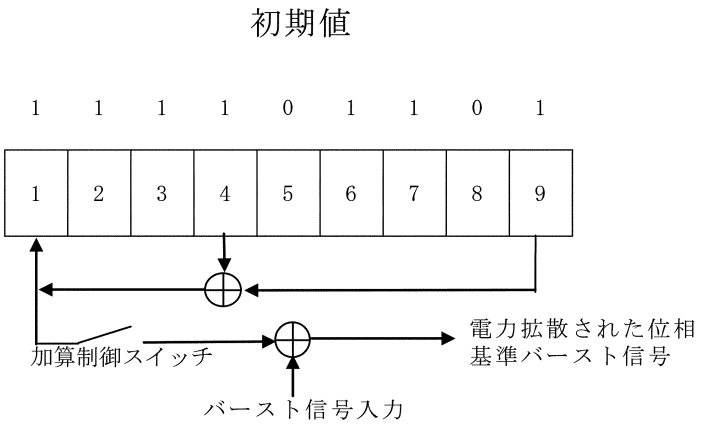
１スーパーフレームを周期とし、先頭の２バイトを除き、$X^{15}+X^{14}+1$（15次M系列）により発生する擬似乱数符号系列を同期信号挿入後のＴＭＣＣ信号に加算する。この間、周期内のＷ１、Ｗ２及びＷ３には加算は行わないが、擬似乱数符号系列の発生は継続するものとする。



⊕：排他的論理和の演算素子

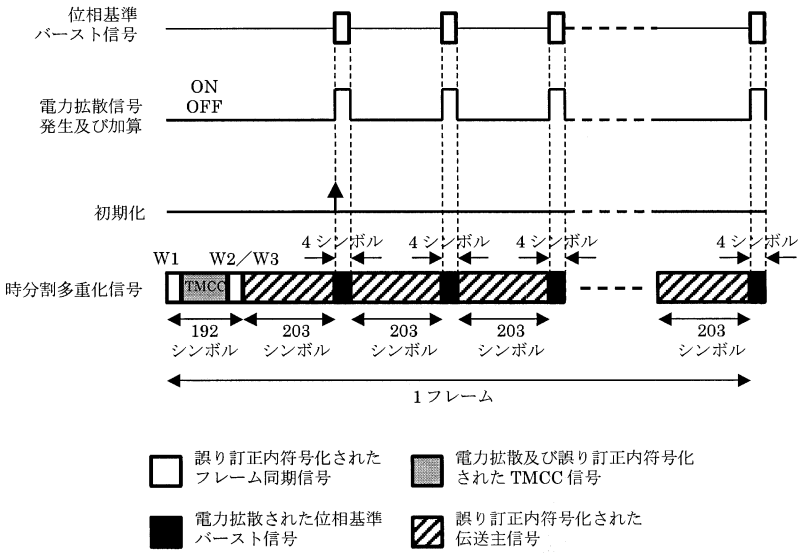
別表第五十一号　位相基準バースト信号の構成（第55条関係）

位相基準バースト信号用の９次の電力拡散信号（$X^{9}+X^{4}+1$、初期値：111101101）は、下図に示す発生器により１フレームを周期として発生するものとする。電力拡散信号の発生及び加算処理は位相基準バースト信号期間のみ行うものとする。



⊕：排他的論理和の演算素子

位相基準バースト信号用の電力拡散信号の発生のタイミングと多重の形式は、下図のとおりとする。



別表第五十二号　狭帯域伝送デジタル放送のろ波器の周波数特性（第70条第４項関係）

$$\begin{cases} 1 & |F| \leq F_n \times (1-\alpha) \\ \sqrt{\dfrac{1}{2}+\dfrac{1}{2}\sin\dfrac{\pi}{2F_n}\left[\dfrac{F_n-|F|}{\alpha}\right]} & F_n(1-\alpha) \leq |F| \leq F_n(1+\alpha) \\ 0 & |F| > F_n(1+\alpha) \end{cases}$$

注　Ｆは周波数、F_nはナイキスト周波数、αはロールオフ率を表し、次の値とする。

$F_n=10.548$（MHz）

$\alpha=0.35$